

講義名	経済学入門(経済学部)			授業形態	
担当教員	丸山 亜希子	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	ECN100
主題と概要					
資金や物価(インフレやデフレ)の問題、あるいは為替レートの話題など、日々の新聞やニュースで経済問題が論じられない日はありません。このような経済問題を理解する道具としての経済学の基礎を学びます。 具体的には、現在の経済理論における大きな柱であるミクロ経済学とマクロ経済学を取り上げて、その基本部分を講義します。ミクロ経済学では、われわれの経済活動を支えている市場の役割と限界を勉強します。またマクロ経済学では、経済活動の規模を測る指標であるGDPなどに触れます。経済理論は抽象的で、一見すると難しいと感じると思いますが、できるかぎり現実の具体的事例に触れながら説明します。					
到達目標					
経済学の考え方をを用いると、新聞やニュースで取り上げられている事象に対して、簡単な予測が立てられるようになります（例えば、政府が行う政策が人々の行動にどのような影響を与えるか、など）。この授業ではそのための基礎知識の習得を目指します。					
提出課題					
普段（平常時）の授業時に課題を課しますので期限内に提出して下さい。詳細は講義中にアナウンスします。 また、普段の課題とは別に、期末に定期試験を実施します。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
普段（平常時）の小課題については、次の授業回で解答・解説を行う予定です。					
評価の基準					
普段（平常時）の課題 30点 期末試験 70点 の計 100点満点で成績を評価します。					
履修にあたっての注意・助言他					
課題は締切り厳守です。期限後の提出は未提出扱いとします。					
教科書					
.マンキュー入門経済学（第4版）.		N.グレゴリー マンキュー	東洋経済新報社	3960	978480791811
参考図書					
.ミクロ経済学の第一歩（新版）.		安藤 至大	有斐閣	2310	9784641150850
備考					
教科書を用意すること。 履修者が多い場合は座席を指定する。配慮を希望する人は、教務部に直接相談して下さい（要証明）。					

その他		
レジュメと課題等を配布します。レジュメには一部空欄を設けます。		
授業計画		
第 1 回 イントロダクション 復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（240分）		
第 2 回 経済学の10原則（原則1～4） 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 3 回 経済学の10原則（原則5～10） 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 4 回 経済学者らしく考える、相互依存と交易の便益 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 5 回 市場における需要と供給の作用（1）～完全競争市場とは 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 6 回 市場における需要と供給の作用（2）～需要と供給 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 7 回 市場における需要と供給の作用（3）～均衡 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 8 回 市場における需要と供給の作用（4）～均衡の変化 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 9 回 市場における需要と供給の作用（5）～弾力性 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 10 回 需要、供給、および政府の政策～価格規制 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 11 回 消費者、生産者、市場の効率性 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 12 回 租税のコスト 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 13 回 国民所得の測定(1)～マクロ経済学とは、GDPとは 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 14 回 国民所得の測定(2)～名目GDPと実質GDPを計算してみよう 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分） 復習内容： 教科書・講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。（150分）		
第 15 回 生計費の測定 予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で教科書を読み、疑問点などを確認しておく。（90分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
講義内容を理解することで、社会的にみて望ましい、個人の行動、企業の行動、政府の行動を考えることが可能となる。これにより、ディプロマポリシーの「現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)」、「さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や段取りを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)」に到達する。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
クリックシステム（キャンバスクロスまたはレスポ）をアンケート等や課題の提出に利用する。		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
実務経験の有無及び活用		
備考		
教科書を用意すること。 履修者が多い場合は座席を指定する。配慮を希望する人は、教務部に直接相談して下さい（要証明）。		